

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 867

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	介護特会	科目	4. 地域支 - 2. 包括的 - 1. 包括的 現年		
事業名	包括的支援事業				
細事業名	包括的支援事業				
評価表作成者				市民福祉部 高齢福祉課	四方 厚司

## 1. 事業の概要

介護保険法の改正に伴い、平成18年4月1日より南丹地域包括支援センターを設置している。設置条件として、経験のある看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員が必要であるので、職員のそろった南丹市社会福祉協議会に委託している。介護予防の拠点として、高齢者本人や家族からの相談に対し、介護・福祉・医療・虐待防止などの必要な支援が総合的に提供されるよう調整を行う。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

高齢者の心身の健康保持と生活の安定のために必要な援助を包括的に実施することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援を行う。

### ② 事業を実施する必要性

高齢者が要介護状態になることを予防し、可能な限り地域で自立した生活を営むために必要な事業である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円		18,500	29,699	35,372	36,798	38,262	38,262
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円		0	0	0	0	0	0
財源内訳								
使用料・手数料等	千円		0	3,710	0	0	0	0
国・府支出金	千円		0	11,130	21,223	15,539	14,408	14,408
地方債	千円		0	0	0	0	0	0
一般財源	千円		18,500	14,859	14,149	21,259	23,854	23,854
職員等の従事人員	人/年	—	0.48	0.45	0.40			
人件費	千円	—	3,403	3,033	2,800			
事業費総額	千円	—	21,903	32,732	38,172			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

地域包括支援センター運營業務委託	34,750,000円（委託料）
高齢者等生活支援事業に係る実態把握業務委託	622,000円（委託料）

## 5. 事業結果の概要

平成22年7月から地域包括支援センター職員を1名増員し6名体制として、北部と南部の2箇所設置とし、それぞれ専門職3名の配置を行った。

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

平成22年7月より市内2箇所センターを設置し、事業運営を行った（サブセンターは前年同様4箇所）。南丹市の区域は広大であり、支援内容も複雑化しているため、今後も体制の充実に努める必要がある。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成22年度の所属長評価

被保険者が要介護状態・要支援状態となることを予防すると共に可能な限り地域で自立した日常生活を営むことができるよう地域包括ケア体制の構築を行わなければならない。本市は、第1号被保険者（65歳以上の高齢者）が10,000人を越え現在業務的にも限界に達している状況であり広域な面積の中、支援の内容も複雑化・困難化する中で1箇所での迅速な対応は、困難であり22年度には2箇所の設置が必要である。

##### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
介護に関する相談の窓口機能として不可欠な事業である。
- ②当該事業のアピール事項  
高齢者や介護関連の事業にも積極的に参加いただき、住民の方に地域包括支援センターを知っていただける取り組みを進めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
業務範囲が広く現状体制では本来業務を遂行することは困難。当面増員で対応するが根本的解決にはもう一箇所必要である。